

複合型子育て支援施設の愛称が決定しました

パレットやぎさき

問い合わせ／保育課（内線 2592）



春日部高等学校南側に整備中で、4/1にオープンする複合型子育て支援施設の愛称が決定しました。

83作品の応募の中から、「**パレットやぎさき**」が選ばれました。

この名称には「いろんな色が集まって、いろんな色が混じり合って、新しい絵が生まれるようにいろんな子が集まって、一緒になってすてきな施設になりますように!!」との思いが込められています。

身近な子育て拠点として、地域の子どもたちとの交流や世代間交流などを行いながら、市民の皆さんに親しまれる施設を目指します。

多くの皆さんからのご応募、ありがとうございました。

県内初！保育所（病児保育対応）と児童発達支援センターが一つになった 複合型子育て支援施設「パレットやぎさき」ってこんなところ



保育所（病児保育対応）

- ▶ 待機児童となりやすい0歳～3歳児クラスの受け入れ枠を増やした定員を設定
- ▶ 病児保育事業、一時預かり事業、延長保育、地域交流会、ファミリー保育士（保育士体験）、子育て相談などを実施
- ▶ 成長過程に合わせた施設・設備を整備
- ▶ 病児保育事業では、生後6カ月～小学6年生までの子どもの預かりに対応



児童発達支援センター

- ▶ 障がいのある子どもに対して日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練などを実施
- ▶ 指導訓練室、遊戯室などを設置
- ▶ 理学・作業療法室には、専門性の高い療育を行うための設備を整備
- ▶ エレベーターホールとの間に間仕切りを設置し、階段などへ子どもだけで近づく危険を回避



共有スペースなど

- ▶ 出入口を共有し、施設中央の中庭を介して施設全体がゆるやかにつながる空間を構成
- ▶ 子どもの成長を促すユニバーサルデザインを基本とした分かりやすい案内表示を設置
- ▶ 雨天でも子どもたちが遊べるスペースを確保
- ▶ 地域住民と交流できる場として花給花壇を中心としたオープンスペースを確保
- ▶ 太陽光発電設備など自然エネルギーを活用する設備の設置

完成前の複合型子育て支援施設「パレットやぎさき」に行ってきました！



令和2年12/22、春日部高等学校南側に建設中の複合型子育て支援施設を市長が訪問しました。4月の開所に向け、工事が大詰めを迎えている中での訪問でしたが、工事担当者の詳しい説明もあり、完成形をイメージしながらの見学となりました。

太陽の光を多く取り入れられるよう工夫された施設内は、日中は照明がなくてもとても明るく、日光を浴びながら部屋の中で元気に過ごす子どもたちの姿が想像できました。

また、2階に設けた屋外のテラスには、安全に配慮したプールが設置されるなど、子どもたちが楽しく、健康に成長できる設備を予定しています。

施設内見学後は、地域3地区の自治会長と共に



施設について歓談を行い、施設が地域にもたらすメリットや、今後の展望について、意見を交換しました。

建設中の施設を訪問し、春日部市のまちづくりが前進していることを実感した一日となりました。

